

なかはらびーこふんぐん 中原B古墳群 発掘レポート②

令和8年2月14日 磐田市教育委員会文化財課

文化財課では、向陽学府整備事業に伴い、令和7年6月から、向陽中学校敷地内の「古墳の森」に残る古墳を中心に、発掘調査をおこなっています。

①調査場所



調査地に残る古墳群は「中原B古墳群」と呼ばれ、磐田原台地の東縁部、向陽中学校周辺に広がる遺跡です。また、周辺には中原A古墳群や中原C古墳群なども広がっており、古墳が多く築かれた地域です。

調査対象地内には7基の古墳があるとされており、そのうち7・8・9・11・12号の5基を調査しています。6・10号墳は調査せず保存します。

②12号墳調査結果

12号墳は、横穴式石室を持つ直径約10mの円墳であることが分かりました。埋葬施設である石室は河原石を積み上げて造られており、長さ約4m、幅約1.4m、残存部分の高さ約0.9mでした。古墳時代終末期(約1300年前)に築造されたことが分かりました。

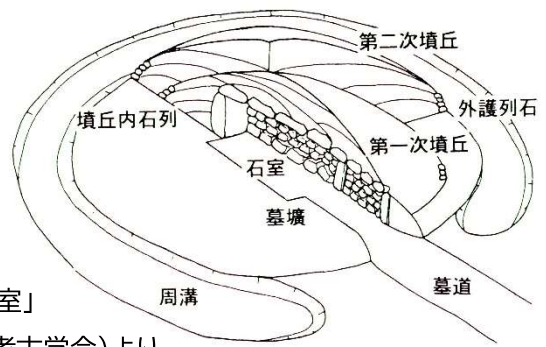


〈石室調査風景〉



〈石室の様子(南東より)〉

古墳からは、副葬品として供えられたと考えられる須恵器^{すえき}が出土しました。壺^{つぎみ}と坏身・坏蓋^{つぎがた}(食べものを盛るための器)で、形から古墳時代終末期～奈良時代のものであると分かりました。



「静岡県の横穴式石室」
(2003 年 静岡県考古学会)より



〈出土した須恵器〉



〈墓道から須恵器が出土した様子〉

③現在調査中の9号墳

9号墳からも横穴式石室が見つかっています。床面には石が敷き詰められていました。また、石室内部からは、須恵器のほかに、耳環^{じかん}と呼ばれる耳飾りが出土しました。



〈耳環〉

〈石室の様子(南西より)〉

○調査は令和8年3月まで行う予定です。
○調査結果は「いわた文化財だより」等で紹介していきます。

【お問合せ】

磐田市教育委員会文化財課(見付 3678-1)

担当: 森本司、鈴木紗英

TEL: 0538-32-9699

E-mail: bunkazai@city.iwata.lg.jp

じゅんぽ
©磐田市

